

枚方市障害者計画（第4次改訂版）の令和6年度進捗状況について

資料2-1

施策体系

基本目標	基本方向	施策
第1節 市民啓発及び地域との交流の推進	1 多様な啓発の推進	(1) 人権・人命の尊重
		(2) 虐待や差別の防止
		(3) 合理的配慮
	2 地域との交流	(1) 地域福祉活動
		(2) 地域交流の推進と居場所づくり
第2節 障害者（児）が安心できるまちづくり	1 公共施設の整備等	(1) バリアフリーの整備
		(1) 保育・療育・教育の充実
	2 保育・療育・教育の充実	(2) インクルーシブ教育・保育の推進
	3 災害対策	(1) 自然災害
第3節 安心して生活できるサービスの確保と提供	1 地域生活への支援	(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上
		(2) 情報アクセシビリティの向上及び意思疎通支援の充実
	2 緊急時の対応	(1) 障害ニーズに応じた対応
	3 保健・医療との連携	(1) 保健・医療との連携
第4節 自分らしい生き方を見つける・選ぶ	1 就労に向けた支援	(1) 就労に向けた支援
		(2) 就労に関する相談支援
		(3) 工賃向上に向けた支援
	2 社会参加と多様な学習への支援	(1) 生涯学習の推進
		(2) 文化・芸術活動への支援
第5節 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供	1 相談・支援体制の充実	(3) スポーツ・レクリエーション活動への支援
		(1) 相談・支援体制の充実ときめ細やかな情報提供
	2 関係機関との連携による支援の充実	(1) 関係機関との連携による支援の充実

枚方市障害者計画（第4次改訂版）の令和6年度進捗状況について

基本目標	基本方向	施策	取扱事業数	現状維持	拡充	見直し	終了
第1節 市民啓発及び地域との交流 の推進	1 多様な啓発の推進	(1) 人権・人命の尊重	5	5			
		(2) 虐待や差別の防止	6	6			
		(3) 合理的配慮	7	7			
	2 地域との交流	(1) 地域福祉活動	8	8			
		(2) 地域交流の推進と居場所づくり	2	2			
第2節 障害者（児）が安心できる まちづくり	1 公共施設の整備等	(1) バリアフリーの整備	13	12		1	
	2 保育・療育・教育の充実	(1) 保育・療育・教育の充実	22	20	2		
		(2) インクルーシブ教育・保育の推進	7	6	1		
	3 災害対策	(1) 自然災害	16	13	3		
第3節 安心して生活できるサービ スの確保と提供	1 地域生活への支援	(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	9	8		1	
		(2) 情報アクセシビリティの向上及び意思疎通支援の充実	12	11	1		
	2 緊急時の対応	(1) 障害ニーズに応じた対応	3(1)	2(1)	1		
	3 保健・医療との連携	(1) 保健・医療との連携	11	11			

枚方市障害者計画（第4次改訂版）の令和6年度進捗状況について

基本目標	基本方向	施策	取扱事業数	現状維持	拡充	見直し	終了
第4節 自分らしい生き方を見つける・選ぶ	1 就労に向けた支援	(1) 就労に向けた支援	6(1)	4	1	1(1)	
		(2) 就労に関する相談支援	2	2			
		(3) 工賃向上に向けた支援	2	2			
	2 社会参加と多様な学習への支援	(1) 生涯学習の推進	2	2			
		(2) 文化・芸術活動への支援	2	2			
		(3) スポーツ・レクリエーション活動への支援	3	3			
第5節 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供	1 相談・支援体制の充実	(1) 相談・支援体制の充実ときめ細やかな情報提供	5(1)	3	2(1)		
	2 関係機関との連携による支援の充実	(1) 関係機関との連携による支援の充実	2	2			
合計			145(3)	131(1)	11(1)	3(1)	0

※（）内は再掲の取組数

前期計画から引き続き実施されている継続的な取組が多く、今後の方向として「現状維持」を掲げているものが多数を占めており、本計画全体の進捗状況としては目標達成に向け、概ね順調に進められているものと考えられます。

施策の基本目標

第2節 障害者(児)が安心できるまちづくり

基本方向	施策
1 公共施設の整備等	(1) バリアフリーの整備

取組（抜粋）：見直し

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
福祉移送サービス	障害者の社会参加の機会を拡充するため、運転者養成講習会を実施し、サービス提供の確保を図ります。	福祉移送サービス事業者として、市内の10事業者が国への登録を行い、障害者や高齢者に移送サービスを提供しました。また、共同配車センターへは、5事業者が登録を行い、サービスを提供することで、障害者の社会参加の機会の拡充に取り組みました。	見直し 共同配車センターの配車実績は、ピーク時から大幅に減少しており、事業として一定の役割を果たしたため、令和7年度末をもって終了します。福祉移送サービスは、各事業所で引き続き利用できます。	障害支援課

施策の基本目標

第2節 障害者(児)が安心できるまちづくり

基本方向	施策
2 保育・療育・教育の充実	(1) 保育・療育・教育の充実

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
保育と就学前教育の充実	保育所(園)・幼稚園等において、「ともに生き、ともに育つ」保育を実施するとともに、職員の研修や必要な人材の配置等により、障害のある子どもの支援体制の強化を図ります。	障害児を受け入れる私立保育所(園)等(46園)に対し、必要な職員の配置に係る人件費の補助を行いました。	拡充 令和7年度から障害児補助に係る加配職員の人件費に係る補助金を拡充します。	私立保育幼稚園課

施策の基本目標

第2節 障害者(児)が安心できるまちづくり

基本方向	施策
2 保育・療育・教育の充実	(1) 保育・療育・教育の充実

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
留守家庭児童会室運営事業	2018年度(平成30年度)より、第1学年から6学年までの全学年の児童の受入れを行っています。障害のある児童については、職員の研修や職員の配置、また学校との連携等により、保育環境や支援の充実を図ります。	留守家庭児童会室では、障害のある児童等の受入れにあたり、室全体の運営状況を踏まえて適切な人員を配置することで、放課後の遊び及び生活の場の提供に取り組ましました。また、児童会室の職員の資質向上を図る目的として年間を通して研修を12回実施しました。障害のある児童等については、課の職員(臨床心理士や保育士、放課後児童支援員等)が定期的に児童会室を巡回し、保育環境や支援の充実を図りました。	拡充 児童会室の職員の資質向上を図る目的として研修の回数を増やしていく予定です。	放課後子ども課

施策の基本目標

第2節 障害者(児)が安心できるまちづくり

基本方向	施策
2 保育・療育・教育の充実	(2) インクルーシブ教育・保育の推進

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
障害のある児童への教育の充実	小・中学校において、個別の教育支援計画等を活用し、障害のある児童・生徒等のニーズに応じた適切な教育を行えるように努めます。また、教職員研修の充実や、支援学校などのスタッフ及び専門家による巡回相談を活用しながら、教育の充実を図っていきます。	市教委主催の教職員研修を以下の通り行い、充実を図りました。 支援教育コーディネーター研修は、「支援教育コーディネーターの役割と学校園の支援体制」・「幼児・児童・生徒のアセスメントと支援教育について」というテーマで2回行いました。 支援教育研修は、「支援学級における学級経営と授業」・「子どもの見取りと支援のあり方」・「通常の学級で行う愛着障害サポート」というテーマで3回行いました。 中学校初任者研修・小学校初任者研修は、「支援教育の理解と実践」というテーマで1回行いました。 市費負担教員研修・1年目小中学校講師研修〔定数内〕は、「インクルーシブ教育の視点から学ぶ支援教育」というテーマで1回行いました。 5年目小中学校教諭研修は、「通常の学級におけるインクルーシブ教育」というテーマで1回行いました。 小中学校10年経験者研修は、「すべての子どもに「わかる・できる」を～インクルーシブ教育の理念と実践～」というテーマで1回行いました。	拡充 小中学校の1年目から10年目の教諭に対して、キャリアステージに応じた系統的な支援教育について研修する機会を拡充します。	教育研修課

施策の基本目標

第2節 障害者(児)が安心できるまちづくり

基本方向	施策
3 災害対策	(1) 自然災害

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
避難行動要支援者の把握	地域防災計画に基づき、災害時に必要な支援を実施するため、避難行動要支援者名簿を作成しています。この名簿に登載された人の内、平常時からの情報提供に同意された人について、消防、警察、民生委員、自主防災組織等へ名簿情報を提供します。また、関係機関と連携の上「個別避難計画」の作成体制を推進します。	災害時避難行動要支援者名簿を作成することにより把握しています。 名簿登録対象者は、①介護保険の要介護3～5の認定者、②身体障害者手帳1・2級を交付されている身体障害者(児)、③療育手帳Aを交付されている知的障害者(児)、④精神障害者保健福祉手帳1級を交付されている精神障害者(児)、⑤障害者総合支援法に基づくサービスを利用している難病患者です。 平時には名簿搭載者のうち、名簿情報を避難支援等関係者へ提供することに同意している対象者の名簿情報を、地域の民生委員等へ提供しており、地域の民生委員等が平常時に名簿情報を活用し、平常時の見守り、災害時の情報伝達、安否確認、避難支援等に役立てています。 災害時には避難支援等に必要な範囲において、名簿情報を避難支援等関係者へ提供することに同意していない対象者についても避難支援等関係者に提供し、災害時の安否確認、避難支援等に活用します。	拡充 市内の全避難行動要支援者に記入フォーマットを送付し、セルフプラン方式による「個別避難計画」の作成促進に取り組みます。	危機管理対策推進課

施策の基本目標

第2節 障害者(児)が安心できるまちづくり

基本方向	施策
3 災害対策	(1) 自然災害

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
災害時における要配慮者の支援と福祉避難所の充実	地域防災計画に基づき、障害者の安否確認、避難誘導、避難所生活における配慮などの安全対策を的確に実施できる体制の整備に取り組みます。また、幅広い障害特性に応じた避難生活ができる福祉避難所の充実等に取り組みます。	枚方市総合防災訓練(ひこ防'2)において、枚方市と災害時における協力支援協定を締結する団体と連携して、枚方市総合福祉センターにて福祉避難所における要配慮者の受入訓練を行いました。また訓練後には、参加者同士で福祉避難所のより円滑な運営体制について意見交換を行いました。そのほかにも、災害時の避難生活において、特別の配慮が必要な方に適切に対処するため、福祉避難所のあり方について検討を行いました。	拡充 対象事業所に指定福祉避難所に関する意向調査を実施し、指定を受ける意向を示した事業所について順次指定手続きを進めています。	健康福祉政策課

施策の基本目標

第2節 障害者(児)が安心できるまちづくり

基本方向	施策
3 災害対策	(1) 自然災害

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
災害時における要配慮者の支援と福祉避難所の充実	地域防災計画に基づき、障害者の安否確認、避難誘導、避難所生活における配慮などの安全対策を的確に実施できる体制の整備に取り組みます。また、幅広い障害特性に応じた避難生活ができる福祉避難所の充実等に取り組みます。	災害時に一次避難所での避難生活を送ることが困難な要支援者の受入先として、ラポール枚方や総合福祉センターを福祉避難所に指定しています。また、市内の入所施設等と協定を締結して、市がトリアージュを行った要支援者を受け入れる体制をとっています。また、新たに、あらかじめ選定した障害者が直接避難できる福祉避難所の指定を進めるため、関係課と連携して生活介護事業所を対象とした説明会を開催しました。	拡充 対象事業所に指定福祉避難所に関する意向調査を実施し、指定を受ける意向を示した事業所について順次指定手続きを進めています。	障害支援課

施策の基本目標

第3節 安心して生活できるサービスの確保と提供

基本方向	施策
1 地域生活への支援	(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上

取組（抜粋）：見直し

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
日中活動系サービス	利用者ニーズに応じたサービス提供の確保に努めるとともに、事業者の支援施策として既存事業者の施設整備や定員増のほか、新たな日中活動の場の確保とこれを担う人材の育成に努めます。	日中活動系サービスの事業所へ通所する在宅の精神障害者等に対して交通費の一部を助成する「枚方市障害者通所支援補助事業」を実施し、通所サービスの活用を促しました。77事業所を利用する187人に給付しました。なお、JRや京阪電気鉄道等の鉄道事業者各社の運賃割引制度において、令和7年(2025年)4月1日から、これまでの身体障害者や知的障害者に加えて、精神障害者も対象とされることから、当事業については、令和7年(2025年)3月31日をもって廃止しました。 就労継続支援B型事業所の新規整備に係る、枚方市障害者施設等整備費補助金の協議の申請が1件ありましたが、採択されませんでした。	見直し 「枚方市障害者通所支援補助事業」の廃止に伴い、令和7年度以降は精神障害者についても身体障害者、知的障害者と同様の条件で通所事業を利用することになります。	障害支援課 障害企画課

施策の基本目標

第3節 安心して生活できるサービスの確保と提供

基本方向	施策
1 地域生活への支援	(2) 情報アクセシビリティの向上 及び意思疎通支援の充実

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
行政サービスの電子申請に向けた取組	電子申請により、市民の利便性の向上を図るため、対応可能な業務から順次対応していきます。	市の様々な手続きのオンライン化を図るため、汎用的電子申請サービス「Logoフォーム」及び国の電子申請サービスである「ぴったりサービス」を活用し、電子申請が可能な手続きの拡充を進めました。これらの電子申請サービスの活用により、昨年度に引き続き全庁的な手続きのオンライン化を推進しました。	拡充 電子申請が可能な手続き数の拡充など取組みを発展・拡充させます。	DX推進課

施策の基本目標

第3節 安心して生活できるサービスの確保と提供

基本方向	施策
2 緊急時の対応	(1) 障害ニーズに応じた対応

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
地域生活支援拠点の機能の充実	相談、ひとり暮らしやグループホーム等の体験の機会の場合、緊急時の受入れや対応等、地域生活支援拠点の早急な整備に向けて取り組み、コーディネーターを配置するなど機能の充実に努めます。	地域生活支援拠点の機能の1つである緊急の受入体制については市内10か所の短期入所事業所と協定を締結し、1件の実績がありました。また、未整備である「体験の場」の設置に向けて障害福祉専門分科会の連携機関であるワーキンググループ会議等において協議を行い、具体的な事業形態について一定の方向性を得ました。	拡充 未整備である「体験の場」の整備を進めることにより、5つの機能全ての整備の完了による拡充を目指します。	障害企画課

施策の基本目標

第4節 自分らしい生き方を見つける・選ぶ

基本方向	施策
1 就労に向けた支援	(1) 就労に向けた支援

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
市職員への雇用	本市の障害者活躍推進計画で目標に掲げる障害者雇用率の実現に向けて、職員採用試験において障害者枠を設けるとともに、非常勤職員等の採用についても同様に取り組んでいます。	令和6年度の障害者雇用率は市全体で3.00%であり、目標を達成しました。雇用率の更なる向上を見据え、障害者の社会進出、雇用促進を目的に、引き続き、事務員の区分に障害者枠を設けて職員採用試験を実施し、令和7年4月に3人を雇用しました。なお、令和7年度から障害者雇用率の目標を3.4%に引き上げるとともに、令和7年度の職員採用試験では応募要件を拡充し、これまでの身体障害者手帳(1級から4級まで)の交付者に加え、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳の交付者など、障害の種別や等級を問わず、新たに対象とする予定です。	拡充 雇用率の目標値の引上げ及び採用試験の応募要件の拡充など、市職員への雇用の促進を図ります。	人事課

施策の基本目標

第4節 自分らしい生き方を見つける・選ぶ

基本方向	施策
1 就労に向けた支援	(1) 就労に向けた支援

取組（抜粋）：見直し

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
日中活動系サービス【再掲】	利用者ニーズに応じたサービス提供の確保に努めるとともに、既存事業所の施設整備や定員増のほか、新たな日中活動の場の確保とこれを担う人材の育成等事業者の支援施策を講じます。	日中活動系サービスの事業所へ通所する在宅の精神障害者等に対して交通費の一部を助成する「枚方市障害者通所支援補助事業」を実施し、通所サービスの活用を促しました。77事業所を利用する187人に給付しました。なお、JRや京阪電気鉄道等の鉄道事業者各社の運賃割引制度において、令和7年(2025年)4月1日から、これまでの身体障害者や知的障害者に加えて、精神障害者も対象とされることから、当事業については、令和7年(2025年)3月31日をもって廃止しました。 就労継続支援B型事業所の新規整備に係る、枚方市障害者施設等整備費補助金の協議の申請が1件ありましたが、採択されませんでした。	見直し 「枚方市障害者通所支援補助事業」の廃止に伴い、令和7年度以降は精神障害者についても身体障害者、知的障害者と同様の条件で通所事業を利用することになります。	障害企画課

施策の基本目標

第5節 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供

基本方向	施策
1 相談・支援体制の充実	(1) 相談・支援体制の充実ときめ細やかな情報提供

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
枚方市自立支援協議会	相談支援センターをはじめ、地域の関係機関が集まり、障害者が自立した地域生活を営む上で必要となるサービス基盤や人材社会資源の確保などについて検討を行います。	隔月で、枚方市自立支援協議会幹事会を開催し、各部会からの報告や今後のサービス基盤整備の方向性等について協議を行いました。また毎年度開催することとしている枚方市自立支援協議会全体会を開催し、相談支援センターの実績報告等について、評価・検証を行いました。	拡充 自立支援協議会の幹事会を中心に、地域生活支援拠点の運営の一角としての機能強化を図ります。	障害企画課

施策の基本目標

第5節 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供

基本方向	施策
1 相談・支援体制の充実	(1) 相談・支援体制の充実ときめ細やかな情報提供

取組（抜粋）：拡充

施策名	取組	令和6年度実績		所管課
		取組内容	今後の方向	
地域生活支援拠点の整備【再掲】	相談、ひとり暮らしやグループホーム等の体験の機会の場合、緊急時の受入れや対応等の機能を有した地域生活支援拠点の整備に取り組み、コーディネーターを配置するなど機能の充実に努めます。	地域生活支援拠点の機能の1つである緊急の受入れ体制については市内10か所の短期入所事業所と協定を締結し、1件の実績がありました。また、未整備である「体験の場」の設置に向けて障害福祉専門分科会の連携機関であるワーキンググループ会議等において協議を行い、具体的な事業形態について一定の方向性を得ました。	拡充 未整備である「体験の場」の整備を進めることにより、5つの機能全ての整備の完了による拡充を目指します。	障害企画課